

かし、三郎にあたらせ給ひしは、從三位して、宮内卿兼平の君と申てうせ給ひにき、さるは御母い  
とあてにおはす、みつよしの式部卿のみこの御むすめにて、かへすくもやむごとなくおはす  
べかりしかど、この三人の大臣たちを、よの人三平と申き、

〔大鏡五太政大臣兼家〕

大入道殿中略

兼家、女院の御母

北方の御はらの君達みどころ兼、道隆、道の

御あ

りさま申侍らん、昭宣公基經の御きんたち三平時平、仲平、忠平とは聞えさすめりしに、此三ところ

をば三道とやよの人申けん、えこそうけ給はらずなりしかとてほゝるむ、

〔閑散餘録下〕

仁齋伊藤氏藤原

五人ノ男子アリ、五子トモニ才學有テ、家聲ヲ落サズ、長胤字ハ原藏、東涯

ト號ス、又別ニ慥々齋ト號ス、長英、字ハ重藏、梅宇ト號ス、初メ周防ノ徳山毛利侯ニ仕へ、後備後ノ

福山阿部伊勢侯ニ仕フ、長衡、字ハ正藏、介亭ト號ス、高槻ノ永井飛驒侯ニ仕フ、長準、字ハ平藏、竹里

ト號ス、筑州ノ久留米有馬玄蕃侯ニ仕フ、長堅、字ハ才藏、蘭嶋ト號ス、紀伊侯ニ仕フ、五子ノ次第此

ノ如シ、東涯ハ長子ナルユヘ、京都ノ家ヲ承テ、仕途ニ就ズ、弟四人ハ、右ノ如ク各々儒業ヲ以テ、諸

侯ニ祿仕セリ、五人ノ中、東涯ト末子ノ蘭嶋二人、經術文章特ニスグレタル故ニ、京都ノ諺ニ、五藏

ノ頭尾ト稱セリ、五藏トハ五人同ジク、字ニ藏ノ字アルガユヘナリ、

〔玄同放言三上〕姓名稱謂

儒佛名號をもて名とせしは、略中

圓融院の御宇に、藤原朝臣伊尹公日本紀

あり、一條院の御宇に、

藤原朝臣伊周同書あり、伊周は伊尹、周公旦を一字づ、取り給ひしなり、是より先き藤原諸葛

三代實錄光孝紀あり、漢の孔明が復姓を取れり、又花山の朝に、大江匡衡あり、漢の匡衡を取れるなるべ

し、

〔關田耕筆三〕續日本紀大寶三年下に、衣縫造孔子といふ名あり、略唐人の名を付たる類は、藤原

伊尹公、同相如の類、尙有べし、相如は彼にても、蘭相如をうらやみ、司馬相如とつき、公孫無忌、魏無

以古人名爲名